# 平成26年度 公益社団法人京都市観光協会事業報告

#### 平成26年度重点取り組み項目について

#### 1 「京の夏の旅」「京の冬の旅」事業のより一層の充実

「京の夏の旅」「京の冬の旅」キャンペーン事業において、次年度事業の早期の企画発表や情報提供、魅力あるテーマの設定、観光客のニーズに応えたイベントの実施、誘致宣伝販売の強化など、京都への旅行商品造成と宣伝販売促進に努めるとともに、JRや関西私鉄各社、京都市交通局でのポスター掲出、パンフレット配布などの宣伝協力を得、より一層の京都観光の盛り上げを図った。

#### (1) 「京の夏の旅」

相次ぐ台風やゲリラ豪雨に見舞われ、京都観光にとって厳しい夏であったにもかかわらず、「旧花街・島原の文化」「賓客を迎える日本建築の美」といったテーマが好評を得たことやJR各社をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の私鉄各社、

市交通局や旅行会社各社など、関係機関との密接な連携のもと、幅広い宣伝展開を図ったことにより、多くの観光客を受け入れることができた。

文化財特別公開については、対前年度比 129%、拝観見学者数が 124,839 人を数え、「京の夏の旅」として過去最高であった平成 23 年度の 106,852 人を大きく上回る実績を挙げた。また「定期観光バス特別コース」についても、対前年度比 144%と多くの観光客で賑わいをみせた。

#### (2) 「京の冬の旅」

JR6社共同によるデスティネーションキャンペーンとして全国規模での誘致宣伝に努めるとともに、関西私鉄各社、京都市交通局の宣伝協力や、大阪、神戸の交通局とも連携を図り、近郊都市での宣伝強化にも努めた。また、「京の冬の旅」オープニングイベントを開催し、多数のメディアに取り上げられたほか、話題となるテーマの設定やイベント内容の充実を図ったことにより、非公開文化財特別公開の拝観者数は対前年度比106%、拝観者数が352,157名と、前年度を上回る結果となった。

「京の冬の旅」定期観光バス特別コースは、「琳派400年記念」「世界遺産登録20周年記念」などの魅力あるテーマ設定で運行した「うるわし」「みやび」といった定番の4コースに加え、昨年に引き続き短時間で観光地をめぐる「半日コース」や女性をターゲットとした「女性向けコース」などの特別コースを設定、観光客の幅広いニーズに対応した特別コースを運行し、新たな観光客層の開拓にも力を入れ、特別コースの合計は対前年度比 150%となった。

#### 2 京都「千年の心得」、「京のたしなみ」等体験プランの充実と通年型観光の推進

千年を超える歴史に培われた京都ならではの奥深い上質な魅力に出会うことのできる体験型観光プラン京都「千年の心得」事業、京都の伝統文化、伝統産業の魅力にふれることのできる体験型素材を集めたキャンペーン「京のたしなみ」事業、京の食をテーマとしたキャンペーン「食遊菜都」など、それぞれの事業内容を充実させることにより、豊かな文化を育む京都の町の魅力を発信するとともに、京都へのより一層の観光客誘致推進を図った。

#### 3 外国人観光客受入対策のより一層の強化

当協会では外国人観光客の受入対策として、基本的な情報となる英文地図を作成しているが、外国人観光客の急増によりこれまでの30万部作成では1年間継続しての配布が困難になったため、広く全会員に協賛を呼び掛けることにより、20万部増刷の50万部を作成した。また、より深く多様な京都を楽しんでもらえるようエリア特集や協会会員の店舗を紹介した新情報誌『Kyoto Recommends』を初めて発行し、今後継続発行を目指している。

多くの外国人観光客が連日利用する京都総合観光案内所では、情報共有など市内各地の案内所連携の第一歩として、京都駅の案内所間の情報交換を行い、京都観光の玄関口である京都駅でのホスピタリティ向上に取り組んでいる。

#### 4 京都四大行事の円滑な執行への支援及び観覧席事業における安全な運営の確保

京都の観光振興に大いに寄与する、葵祭・祗園祭・五山送り火・時代祭の京都四大行事が、安定的に執行されるよう補助金の交付を初めとする支援を行った。26 年度は葵祭、五山送り火、時代祭が雨天または豪雨直後の開催となり、行事の実施や継続の有無の情報発信についてホームページや SNS を活用し情報発信に努めた。

葵祭・祇園祭・時代祭については、観覧席を設置し、観光客の利便や旅行会社のツアー設定に寄与したほか、観覧席周辺の沿道整理や警備に貢献した。26 年度は、祇

園祭の後祭が約半世紀ぶりに復興し、これに伴い、後祭巡行時に観覧席を設けるとと もに、山鉾巡行や宵山の日程変更についても情報の発信に努めた。

また葵祭・五山送り火については、協賛会の事務局を務め、協会会員への募金活動等を行った。

# 5 京都総合観光案内所など観光客をお迎えする窓口でのより満足度の高い "おもてなしの心"での応対と会員情報の発信

当協会が運営業務を受託する京都総合観光案内所「京なび」の平成 26 年度の相談者数は 80 万人を越えた。外国人観光客、特に中国を中心にアジア圏の相談者が増加し、1年を通してトップシーズンのような賑わいを見せている。長い行列ができることもしばしばあることから、観光地図のような基本的なツールを窓口に求めずとも入手できるよう配架し、また問合せの多い観光地へのバスの路線番号を掲出するなど、主に日本人観光客が列に並ばずとも情報を入手できるよう工夫し、総体としては、必要とする情報が届けられ、より満足度の高い案内ができたと考えられる。

このような取組が評価され、平成27年3月に行われた受託事業者を選考するプロポーザルにおいて、27年度からも引き続き当協会が受託することが決定した。

#### 6 京都観光と会員情報の発信

当協会では、協会会員へ定期的に情報提供を呼びかけ、情報収集を図り、電話や観光案内所の窓口はもとより、協会のもつ情報誌、インターネットなどあらゆるメディアで会員情報を中心とした観光情報を発信した。

26 年度は、会員施設を紹介した英語情報誌を新たに創刊したほか、会員施設所在地を掲載した観光地図について、日本語・英語あわせて 100 万部を作成した。また、葵祭・五山送り火・時代祭が雨天や豪雨後の開催になったことから、開催の有無等をよりタイムリーにお知らせするため、即時性を利点とする SNS を活用した情報発信を行った。

# 平成26年度事業報告について

# |I 観光都市京都の紹介宣伝事業 | (公益目的事業会計)

#### 1 JR委員会の活動

JRグループ各社と共同で観光客誘致を推進するためJR委員会を運営し、JR各 社との連携による各種の効果的な誘致宣伝活動を実施した。

#### (1) JR西日本との共同事業「京都・大阪・神戸観光推進協議会」への参画

関西の観光地としてそれぞれの特徴を持った、京阪神三都市への観光客誘致を 推進するため協議会に参画し、全国的に定着している"三都物語"キャンペーン について、JR西日本と共同で誘致宣伝活動を行うとともに、北陸新幹線開業を 控えた金沢で初めて観光キャラバンを開催するなど、三都市周遊型のツアー企画 の造成および販売活動を推進した。また、インバウンドにも取り組み、海外に向 けた情報発信を積極的に行った。

- ① 首都圏・九州・中国・北陸エリアの旅行会社の造成・販売担当者を招き、三都 現地説明会を実施
- ② 首都圏・中国・九州エリアを中心にマスコミ機関を招き、三都現地取材会を実 施し、新聞・タウン情報誌等に記事を掲載
- ③ 三都観光情報パンフレットの作成配布
- ④ 関西鉄道社局と連携し、三都及び冬季のイルミネーションイベント等の P R イ ベントを北陸新幹線開業前で盛り上がる金沢で実施し、ステージでのPRやパン フレットの配布とあわせて、マスコミ及び旅行会社を訪問
- ⑤ 北陸新幹線開業で新潟県から三都へのアクセスがより便利となることから、新 潟日報に三都の観光情報の記事を掲載するとともに、新潟伊勢丹で開催された物 産展「三都物語~京都・大阪・神戸めぐり~」において三都の観光パンフレット を配布
- ⑥ 旅行会社等が販売する"三都物語"旅行商品の購入者に対するプレゼントキ ャンペーンの実施
- ⑦ インバウンド向けに三都の交通及び観光情報をPRするため、三都各都市交通 局の路線図及びフリー乗車券等を紹介する観光パンフレットを制作
- ⑧ マレーシアの旅行博「MATTA」に出展し、制作したフリーペーパーや観光パ ンフレット等を配布
- (2) JR東海との共同事業「京都観光宣伝協議会」への参画

首都圏および東海道新幹線沿線地区から観光客誘致を図るため協議会に参画 し、JR東海の宣伝媒体をはじめマスコミ媒体を活用した幅広い京都PRを展開 するとともに、PRと連動した受入対策を推進した。

# ① 首都圏での観光PRの実施

首都圏で開催されたイベントと連携して「京の夏の旅」「京の冬の旅」「京の七夕」「京都・花灯路」事業をPRするため、舞妓を派遣するなど京都観光ブースを設置して積極的な京都観光PRに努めた。実施会場、実施日は以下のとおり。

○イオンモール幕張新都心

7月5日~6日

○日本橋三越本店

11月8日~9日

○東武池袋駅

2月7日~8日

#### ② 京都散策ブックの配布

首都圏の旅行者に対し、季節ごとの見どころ等を紹介した冊子を配布し、京都観光のPRに努め、京都への誘客推進を図った。

- ○京都散策ブック「新緑の京めぐり」の配布 初夏の京都の「青もみじ」の見所等を紹介 期間 5月7日~7月11日
- ○京都散策ブック「京のお庭で一服」の配布 初秋の京都の見所等を紹介 期間 9月8日~11月7日

#### (3) JR東日本「びゅう京都会」への参画

JR東日本の旅行業部門と京都の宿泊施設等を中心に組織された「びゅう京都会」に参画し、宿泊客の誘致対策などの検討や情報交換を行った。

#### (4) JR西日本との連携

JR西日本の主要駅で「京の夏の旅」「京の冬の旅」「京の七夕」「京都・花灯路」事業をPRするため、舞妓を派遣するなど、京都観光ブースの設置とあわせて観光物産展を開催し、積極的な京都観光PRに努めた。実施会場、実施日は以下のとおり。

 $\bigcirc$  J R 和歌山駅・和歌山近鉄 5月 24日 $\sim$ 25日

○JR高槻駅・天王寺駅・三ノ宮駅・堺市駅 6月26日~27日

○ J R岡山駅 7月 19日~20日

○ J R 金沢駅 7 月 25 日

○ I R 博多駅 11 月 26 日

○ J R 金沢駅 12 月 8 日~9 日

○ J R 岡山駅 12 月 14 日

○JR高槻駅・天王寺駅・三ノ宮駅・茨木駅 1月14日~15日

○熊本パルコ・JR鹿児島中央駅

2月20日~22日

# (5) JR九州との連携

JR九州と連携し、京都向けの旅行商品の設定をするなど、観光客誘致につながる取り組みを実施した。

# (6) JRグループ6社共同キャンペーンの継続実施

昭和 54 年から通算して連続 35 年間実施している「京の冬の旅」キャンペーンについて、JRグループ 6 社によるデスティネーションキャンペーンとして引き続き実施を要請し、冬季の観光振興を図る最重点事業として取り組んだ。

#### 2 インターネット情報発信の充実

# (1) インターネットでの観光・会員情報の発信充実

「京都市観光協会ホームページ」、多言語ページ「KYOTO-MAGOnoTE」を活用し、観光・会員情報の発信を行った。両ページとも総ページビュー数が増加した。

「京都市観光協会ホームページ」

平成 26 年度 総ページビュー数 7,848,423 件 (25 年度 5,458,798 件) 「KYOTO-MAGOnoTE」

平成 26 年度 総ページビュー数 1,715,673 件 (25 年度 1,342,596 件)

#### (2) イベント・年中行事情報のインターネット発信

旅行会社の企画に役立つよう引き続き  $6 ext{ } ext{$ 

#### (3) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の活用

世界的に利用者の多い facebook を活用し、観光情報をはじめ、三大祭の開催の有無のような急ぎ伝えたい情報の発信を行った。

facebook ページ『京都観光上ル下ル』 いいね! 11,582 件

# 3 誘致宣伝印刷物の作成配布

#### (1) 月刊誌「京ごよみ」の編集発行

2ヶ月・3ヶ月先の情報を掲載した『京ごよみ』を京都市と共同で毎月4万部発行し、観光客はじめ会員、首都圏を中心に旅行会社、マスコミ機関等に配布して観光客の誘致を推進した。

#### (2) 誘致ポスターの作成配布

京都四大行事をはじめ、各種年中行事や観光イベントの誘致ポスターを作成し、IR各社の全国主要駅、私鉄各社の主要駅を中心に掲出するとともに、旅行会社、

観光案内所および全国各地の京都展、物産展等へ適宜効果的に配布した。

- (4月) 春のをどり・鴨川をどり・葵祭・大原女まつり
- (6月) 祇園祭
- (7月) 第39回「京の夏の旅」・京都五山送り火
- (9月) 時代祭
- (12月) 第49回「京の冬の旅」
- (3月) 都をどり・平安神宮「桜」
- \*()内は掲出月

#### 4 京都観光推進協議会への参画

京都市ならびに関係業界で組織する京都観光推進協議会に参画し、修学旅行および一般観光客誘致対策に重点をおいた活動を推進した。

#### 5 全国各地の「京都展」での誘致宣伝活動

首都圏はじめ全国各地の主要都市の百貨店で開催された「京都展」や「物産展」を 共催、後援し、観光コーナーへのパンフレット配布や、ポスターを掲示して、京都観 光のPRを実施した。

#### 6 京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の受託

京都観光オフィシャルサイト「京都観光 Navi」の運営を京都市から引き続き受託 し、利用者のニーズに対応した的確な情報発信を行うとともに機能充実に努めた。 平成 26 年度 総ページビュー数 30,430,358 件(25 年度 23,984,871 件)

# Ⅱ 京都ブランドの向上を目指す京都観光振興事業 (公益目的事業会計)

#### 1 「京の夏の旅」キャンペーンの実施

夏季観光客誘致事業として取り組んでいる「京の夏の旅」キャンペーンは、前年度に引き続きイベントの早期計画および早期発表を継続するとともに、宣伝面においてもJR各社をはじめ、京阪、阪急、阪神、近鉄、南海の関西私鉄各社、京都市交通局など、関係機関との密接な連携のもと、誘致宣伝活動の強化や旅行商品化の促進に努めた。

#### (1) 第39回「京の夏の旅」文化財特別公開

普段見ることのできない社寺や施設を個人・団体でも見学できるよう7か所で 実施した。拝観・見学者数の合計は、過去最高の124,839人で、対前年度比129%、 1日当たりの平均拝観・見学者数では対前年度比133%となった。

公開期間 7月12日~9月30日

公開箇所 島原 角屋/島原 輪違屋/しょうざん 峰玉亭/大雲院 祇園閣/ 相国寺 法堂・方丈/下鴨神社 神服殿・大炊殿/建仁寺 両足院

拝観・見学者数 124,839 人

(2) 第39回「京の夏の旅」定期観光バス特別コース

7月から9月末までの期間、「京の花街島原の文化とお屋敷めぐり」、「京の世界遺産と涼景を楽しむ」、夜の特別コース「宮廷鵜飼と夕景の嵐山」のバスコースを設定し、運行した。3コース合計の乗車人数は8,325人、対前年度比144%となった。各コースの実績は以下のとおり。

① 「京の花街島原の文化とお屋敷めぐり」

運行期間 7月12日~9月30日

対象箇所 島原 角屋〈一階部分〉/島原 輪違屋/しょうざん 峰玉亭/ 旧九條家別邸 拾翠亭/しょうざん (昼食)

乗車人数: 4,917 人

② 「京の世界遺産と涼景を楽しむ」

運行期間 7月12日~9月30日

対象箇所 下鴨神社 神服殿・大炊殿/東寺 五重塔/大雲院 祇園閣/さるや〈宝泉堂〉(茶菓)/泉仙(昼食)

乗車人数: 2,407 人

③ 「宮廷鵜飼と夕景の嵐山」

運行期間 7月1日~9月15日

対象箇所 嵐山宮廷鵜飼/法輪寺と夕景の嵐山散策/渡月亭(夕食) 乗車人数:1,001人

- (3) 京都「千年の心得」(実績等詳細は17~18ページに掲載)
- (4) 京の食文化キャンペーン「食遊菜都 2014・夏」

(実績等詳細は18ページに掲載)

- (5) **京の体験キャンペーン「京のたしなみ」**(実績等詳細は 18~19ページに掲載)
- (6) 京の夏の旅キャンペーンイベント

観光客のニーズに応えるため、夏ならではのお茶会をはじめ、参加体験型のイベントを実施した。

① 京都·大原探訪

大原の夏の魅力を散策しながら体験する個人観光プラン 開催期間 7月5日~9月28日の土・日・祝 参加人数 196人

② 高台寺「夜の観月茶会」

開催期間 9月12日~28日の金・土・日 参加人数 527人

③ 「京の七夕」事業(実績等詳細は23~24ページに掲載)

# (7) "都の賑い"事業の実施

京都花街組合連合会、京都伝統伎芸振興財団主催の6月恒例のイベントとして 定着した "都の賑い"「京都五花街合同公演」の誘致宣伝に努めた。

開催日 6月28日・29日

#### (8) 誘致宣伝展開

① 誘致宣伝ポスター、パンフレットの作成、掲出配布

「京の夏の旅」ポスター、パンフレットを作成し、全国のJR主要駅や京阪、阪急、阪神、近鉄、南海の関西私鉄各社、京都市交通局、主要旅行会社等へ掲出配布した。その他、JR各社、大手旅行会社の協力を得て、夏の京都旅行商品パンフレットにキャンペーンイベントを掲載した。

《ポスター》

○駅貼(B1・6 種)

2,050 枚

○駅貼 (B2・4種)

800枚

○車内吊り (B3·2種)

11,910 枚

《パンフレット》

○京の夏の旅 イベントガイドブック

44 万部

○京の夏の旅 ダイジェスト版リーフレット (3種) 7万部

○定期観光バス 春夏号

51 万部

《その他》

○京都市営地下鉄車内横枠広告

270 枚

○京都市営地下鉄指詰ステッカー

560 枚

#### ② マスコミ媒体等による誘致官伝

全国主要地区のテレビ・新聞・雑誌等のマスコミに対して、取材協力の要請を行うとともに、「京の夏の旅」の試乗取材会を開催する等、キャンペーンイベントの記事掲載のための誘致宣伝に努めた。取材報道等の実績は以下のとおり。

《テレビ・ラジオ》

- ○テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」
- ○読売テレビ放送「クチコミ新発見!旅ぷら」
- ○NHK大阪放送局「関西ラジオワイド 市町村だより」

《新聞》

京都新聞/朝日新聞/読売新聞/毎日新聞/福井新聞/中日新聞/中國新聞/中日スポーツ新聞/西日本スポーツ新聞/デーリースポーツ/アクティブ報知

#### 《雑誌》

「関西ウォーカー」/「ひととき」/「旅行読売」 ほか

《その他》

当協会ホームページをはじめ、京都観光 Navi、月刊観光情報誌「京ごよみ」、 京都市広報紙、私鉄情報誌などでの情報掲載等による情報発信を実施した。

- ③ JR各社・旅行会社への宣伝販売促進要請 JR各社および主要旅行会社に対して、宣伝販売促進を依頼するとともに、 定期観光バスについては、JRグループの端末による販売を行った。
- ④ 試乗取材会等の開催
  - 「京の夏の旅」オープニングセレモニー

「京の夏の旅」特別公開対象箇所である島原「輪違屋」において、島原太 夫による「かしの式」、舞の披露、胡弓の演奏、お点前の披露など、オープ ニングイベントを開催し、マスコミ各社への広報並びに関係機関への事業協 力の要請を行った。

開催日 7月10日

会 場 島原「輪違屋」

○ 「京の夏の旅」定期観光バス特別コース試乗取材会

主要都市の新聞社等マスコミ各社やJや関西私鉄各社等関係機関を招き、 定期観光バス特別コースの試乗取材会を実施した。

開催日 7月23日

出席者数 マスコミ、JR、関西私鉄、旅行会社、ホテル、旅館など約 40人

○ 関係機関との連携事業

京都市交通局と連携し、「Kotochika 節電サマーフェア 京の夏の旅 PR イベント」において、「京の夏の旅」の PR を行った。

開催日 7月22日

会 場 京都市営地下鉄京都駅コトチカ広場

#### 2 「京の冬の旅」キャンペーンの実施

冬季観光客誘致事業として取り組んでいる「京の冬の旅」キャンペーンは、「古都京都の文化財 世界遺産登録20周年記念」と、本阿弥光悦が京都・鷹峯に芸術村を

開いた琳派誕生の年から400年にあたる「琳派400年記念」をテーマに、14か 所の非公開文化財特別公開を実施した。また、定期観光バス特別コースとして、恒例 の4コースのほかに、新設コースも運行した。

そのほか、奥深い京都ならではの体験ができる観光プラン 京都「千年の心得」、京の伝統文化、伝統工芸を身近に感じる「京のたしなみ」や京の食文化にスポットを当てたイベント「食遊菜都」など、観光客の幅広いニーズに応えるべく、京の冬ならではの多彩なイベントを企画設定し、JRグループ6社共同によるデスティネーションキャンペーンとして全国規模での誘致宣伝、販売活動を行った。

宣伝面においては、JRグループ6社とあわせ、関西私鉄各社や京都市交通局にも さらなる宣伝協力を得て、ポスター掲出など積極的な宣伝強化を図った。

#### (1) 第49回「京の冬の旅」非公開文化財特別公開

「古都京都の文化財 世界遺産登録20周年記念」と「琳派400年記念」をテーマに、普段見ることのできない建築、庭園、襖絵など、14か所の文化財を特別公開した。拝観者数の合計は、352,157人で、対前年度比106%、1日当たりの平均拝観者数でも対前年度比106%となった。

公開期間 1月10日~3月18日

公開箇所 頂妙寺【京の冬の旅初公開】/建仁寺 霊源院【京の冬の旅初公開】 六道珍皇寺/清水寺 成就院/智積院/東福寺 龍吟庵/ 東福寺 勝林寺/本法寺/妙顕寺/仁和寺 金堂・経蔵/ 龍安寺 仏殿・西の庭/妙心寺 三門/妙心寺 衡梅院/東寺 五重塔 (14 か所)

拝観者数 352,157 人

# (2) 第49回「京の冬の旅」京都定期観光バス特別コース

1月から3月の期間、「うるわし」「みやび」「やすらぎ」「あじわい」の定番の4コースに加え、短時間で観光地をめぐる「半日コース」や女性をターゲットとした「女性向けコース」、「京のたしなみコース」など、昨年度から新たに運行を始めたコースを引き続き設定し、観光客の幅広いニーズに対応した特別コースを運行した。特別コース合計の乗車人数は15,473人で、対前年度比150%となった。各コースの実績は以下のとおり。

① うるわしコース「~世界遺産登録20周年記念~ 京の世界遺産めぐり」

運行期間 1月10日~3月18日

対象箇所 清水寺 成就院/仁和寺 金堂・経蔵/龍安寺 仏殿・西の庭/ 東寺 五重塔/清水 順正(昼食)

乗車人数 3,958 人

② みやびコース「~琳派400年記念~京の琳派の美をたずねて」

運行期間 1月10日~3月18日

対象箇所 本法寺 ~本阿弥光悦~/頂妙寺 ~俵屋宗達~/ 妙顕寺 ~尾形光琳~/建仁寺 本坊 ~俵屋宗達~/

八千代(昼食)

乗車人数 4,442 人

③ やすらぎコース「京の秘仏と障壁画をたずねて」

運行期間 1月10日~3月18日

対象箇所 建仁寺 霊源院/智積院/東福寺 勝林寺/妙心寺 衡梅院/ 阿じろ(昼食)

乗車人数 2,593 人

④ あじわいコース「~ユネスコ無形文化遺産登録記念~和のこころに触れる京 のあじわい」

運行期間 1月10日~3月18日(毎週水曜日運休)

対象箇所 京料理 山ばな平八茶屋(昼食)/

京つけもの 土井志ば漬本舗/京の酒 松井酒造/

北野天満宮参拝と京菓子 長五郎餅本舗

乗車人数 2,311 人

⑤ 午前の半日コース「特別公開 智積院と頂妙寺」

運行期間 2月1日~28日

対象箇所 智積院/頂妙寺

乗車人数 343人

⑥ 午前の半日コース「勝運・財運のご利益 毘沙門天めぐり」

運行期間 3月1日~3月18日

対象箇所 東福寺勝林寺/六道珍皇寺

乗車人数 217人

⑦ 午後の半日コース「特別公開 東福寺龍吟庵と妙心寺三門」

運行期間 2月1日~28日

対象箇所 東福寺龍吟庵/妙心寺三門

乗車人数 552人

⑧ 午後の半日コース「世界遺産早回り」

運行期間 2月28日~3月18日

対象箇所 東寺五重塔/龍安寺

乗車人数 234人

⑨ 京のたしなみコース「~京の名勝庭園~醍醐寺と鶴亀の庭」

運行期間 3月1日~15日の土休日

対象箇所 醍醐寺三宝院/南禅寺金地院/俵屋吉富(茶菓)/白河院(昼食)

乗車人数 103人

⑩ 京のたしなみコース「京都名庭めぐり〈一日〉」

運行期間 1月16日~2月28日の月金土と休日

対象箇所 高台寺/南禅寺/平安神宮〈神苑〉/大徳寺瑞峯院/白河院(昼 食)

乗車人数 147人

① 女性向けコース「~特別な京都観光~ウェスティン都ホテルの『古都 de フレンチ』とオリジナル七味作り」

運行期間 2月1日~28日の土休日

対象箇所 京都ハンディクラフトセンター/下鴨神社/さるや〈宝泉堂〉 (茶菓)/ウェスティン都ホテル(昼食)

乗車人数 124人

② 特別コース「京のお雛さまめぐり」

運行期間 2月28日~3月18日の月曜を除く毎日

対象箇所 宝鏡寺/霊鑑寺/京都国立博物館/鶴屋吉信(茶菓)/ 西陣魚新(昼食)

乗車人数 449人

(3) 京の冬の旅スタンプラリー

特別公開箇所を 3 か所巡るとお茶とお菓子で一服できるスタンプラリーを実施した。

参加人数 27,019 人

- (4) 京都「千年の心得」(実績等詳細は17~18ページに掲載)
- (5) 京の冬の食文化キャンペーン「食遊菜都 2015・冬」 (実績等詳細は 18ページに掲載)
- (6) **京の体験キャンペーン「京のたしなみ」**(実績等詳細は 18~19 ページに掲載)
- (7) 京の冬の旅キャンペーンイベント
  - ① 高台寺「夜咄」(夜のお茶会)

名刹高台寺で冬の夜のひとときを楽しむお茶会

開催期間 1月16日~3月1日の金・土・日

参加人数 1,088 人

- ② 西陣・千両ヶ辻界隈まちあるき 黒田官兵衛・聚楽第編 開催日 1月26日、2月2日・13日・21日・27日・3月6日 参加人数 93人
- ③ 京都市中央卸売市場でのお買い物と調理実習を楽しむ!

開催日 2月14日、3月14日

参加人数 58人

④ 第36回「京都名流いけばな展」

いけはな圏<京都>17 流派により入洛客を歓迎するいけばな展を実施した。

開催期間 1月20日~3月1日

会場 JR京都駅 新幹線コンコース

- ⑤ 京都・花灯路事業 (実績等詳細は24ページに掲載)
- ⑥ その他、キャンペーン協賛の市内観光施設での体験イベント、宿泊施設での プレゼント等を実施。

# (8) 「京の冬の旅」キャンペーン全国宣伝販売促進会議の開催

JRグループ6社および全国の主要旅行会社の商品造成担当者、宣伝担当者を招き、京都デスティネーションキャンペーン全国宣伝販売促進会議を開催し、旅行商品の設定および宣伝販売促進を要請した。

開催日 平成 26 年 3 月 17 日・18 日

会場 ホテルグランヴィア京都

出席者 約300名

なお、平成27年度の「京の冬の旅」キャンペーンについても平成27年3月9日・10日に全国宣伝販売促進会議を開催した。

# (9) 京都デスティネーションキャンペーン実行委員会による活動

京都市と共同で京都デスティネーションキャンペーン実行委員会を組織し、テレビCMや誘致ポスターの制作等、京の冬の旅キャンペーンのPRを促進した。

#### (10) 誘致宣伝展開

① 誘致宣伝ポスター、パンフレットの作成・掲出配布

「京の冬の旅」キャンペーンポスター、パンフレットを作成し、全国のJR主要駅をはじめ、京阪、阪急、近鉄、南海、阪神の関西私鉄各社、京都市交通局、主要旅行会社等で掲出配布した。昨年に引き続き、京都・大阪・神戸の三都市交通局の協力のもと、三都市の地下鉄の主要駅に「京の冬の旅」スタンプラリー用紙の設置や、京都市営地下鉄のドア指詰めステッカーによる広告の掲出など宣伝強化を図った。

その他、JR各社、大手旅行会社の協力を得て、冬の京都旅行商品パンフレットにキャンペーンイベントを掲載した。

≪地元制作ポスター≫

○ IR駅貼(B1·5枚組)

1.180 組

○ JR・私鉄・京都市及び三都市交通局駅貼(B1・6種) 2,740 枚

○私鉄駅貼(B2·4種)

760 枚

○ J R・三都市交通局・京阪バス (B3・3 種)

18,310 枚

○地下鉄横枠広告	540 枚
○地下鉄指詰めステッカー	560 枚
≪JRグループ制作ポスター≫	
○ J R 駅貼 (B0・4 種)	7,516 枚
○JR車内吊り(B3・4種)	64,580 枚
○ J R 車内額貼 (B3×4 サイズ・3 種)	25,890 枚
○ J R 車内額貼 (B3×2 サイズ・3 種)	23,640 枚
○JR車内ドア上(変形・2種)	11,000 枚
≪パンフレット≫	
○「京の冬の旅」イベントガイドブック	1,000,000 部
○「京の冬の旅」ダイジェスト版リーフレット	75,000 部
○「京の冬の旅」スタンプラリー	178,000 部
○京都定期観光バス 秋冬号	527,000 部
○非公開文化財特別公開ガイドブック	20,000 部
≪その他≫	
○京都市営地下鉄車内横枠広告	540 枚
○京都市営地下鉄指詰めステッカー	560 枚

# ② マスコミ媒体等による誘致宣伝

全国主要地区のテレビ・新聞・雑誌等のマスコミに対して、取材協力の要請を行うとともに、「京の冬の旅」のオープニングイベントや試乗取材会を開催する等、キャンペーンイベントの記事掲載のための誘致宣伝に努めた。取材報道等の実績は以下のとおり。

21,000 部

○京都マラソン 大会公式プログラムへの広告出稿

# ≪テレビ・ラジオ≫

- ○NHK 大阪「ゆうどき 関西発」
- ○朝日放送「おはよう朝日です」
- ○テレビ大阪「おとな旅 あるき旅」
- ○読売テレビ放送「クチコミ新発見!旅ぷら」
- ○朝日放送 京都市広報番組「e-カンパニ TV」
- ○BS ジャパン「テレビ日経おとなの OFF」
- OJAPAN FM NETWORK「OH! HAPPY MORNING」 ほか

# ≪新聞≫

京都新聞/朝日新聞/読売新聞/毎日新聞/日本経済新聞/中日新聞/ 山陽新聞/北日本新聞/北國新聞/北陸中日新聞/西日本新聞/ 西日本スポーツ/観光経済新聞 ほか

# ≪雑誌≫

講談社「日刊ゲンダイ」/KKベストセラーズ「一個人」/白川書院「月刊京都」/JTBパブリッシング「ノジュール」/小学館「週刊ポスト」/昭文社「ことりっぷ」ほか

#### ≪その他≫

- ○旅行雑誌「別冊旅の手帖」京の冬の旅号発行(6万部)
- ○テレビ「遠くへ行きたい」でのCM放映
- JR時刻表(12月~3月)でキャンペーンイベントのPR
- ○JRジパング倶楽部会員誌で特集記事掲載
- ○当協会ホームページをはじめ、京都観光 Navi、月刊観光情報誌「京ごよみ」、京都市広報紙、私鉄情報誌などでの情報掲載等による情報発信を実施した。
- ③ JR各社・旅行会社への宣伝販売促進要請 JR各社および主要旅行会社に対して、宣伝販売促進を依頼するとともに、 定期観光バスについては、JRグループの端末による販売を行った。
- ④ 試乗取材会等の開催
  - 京都デスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」オープニングイベ ント

「京の冬の旅」キャンペーンの宣伝並びにJRや関西私鉄各社等関係機関とのさらなる連携強化に向け、京都デスティネーションキャンペーン「京の冬の旅」のオープニングイベントをJR西日本と京都市とともに実施した。「琳派」の尾形光琳ゆかりの地であり「京の冬の旅」非公開文化財特別公開対象箇所の一つである妙顕寺において、オープニング式典を行い、キャンペーンの幕開けを祝して舞妓による舞を奉納、マスコミ各社への広報並びに関係機関への事業協力の要請を行った。

開催日 1月10日

会 場 妙顕寺

○ 「京の冬の旅」定期観光バス特別コース試乗取材会の開催 主要都市の新聞社等マスコミ各社をはじめ、JRや関西私鉄各社等関係機 関を招き、定期観光バス特別コースの試乗取材会を実施した。

開催日 1月9日

出席者数 マスコミ、JR、関西私鉄、旅行会社、ホテル、旅館など約 120人

関係機関との連携事業

「京の冬の旅」キャンペーンをPRするため、関西私鉄や京都市交通局と連携し、舞妓による観光パンフレットの配布など、冬の京都への観光誘致宣伝に努めた。

#### \*京阪電鉄との連携事業

京阪電鉄と名古屋鉄道との連携により、名鉄名古屋駅をはじめとする駅頭で、舞妓によるパンフレットの配布などを実施した。

開催日 2月13日~14日

会 場 名古屋鉄道 名鉄名古屋駅・金山駅

#### \*阪急電鉄との連携事業

1月17日から新たに阪急京都線にて運行を始めた京都の名所をラッピングした列車のPRとあわせて、車内や梅田駅で舞妓によるパンフレットの配布を実施した。

開催日 1月18日

会 場 阪急梅田駅・電車車内

\*京都市交通局との連携事業

「Kotochika クリスマスイベント 2014」において、「京の冬の旅」PRを 行った。

開催日 12月23日

会 場 京都市営地下鉄京都駅コトチカ広場

# 3 京都の奥深い魅力に触れる 京都「千年の心得」事業の実施

平成 21 年度より実施している京都「千年の心得」事業では、京都ならではの奥深い上質な魅力に出会うことのできる厳選された観光プランを構築し、数多くの京都ファンやリピーターのニーズに応えるべく、京都市と共同で京都ならではの魅力あるイベントを実施した。また、JRや旅行会社各社で企画したイベントもあわせて誘致宣伝に努めた。

(1)	万	京都「千年の心得」	6月~9月実施	計 656人
	1	大覚寺 蛍放生~闇	夜に輝く命の灯~	115 人
	2	京都の禅寺で坐る	夜坐体験	311 人
	3	染工房「髙橋德」て	『手描友禅染体験を楽しむ贅沢な一日	19 人
	4	水出し茶で涼やかな	ま夏を!祇園祭特別お茶講座と茶フレンチの	<b>昼食</b> 43 人
	(5)	芸艸堂で手摺木版画	<b>可の世界に触れる</b>	17 人
	6	旧嵯峨御所大覚寺門	]跡で平安の香り体験〜お香(薫物)に親し	た~ 151 人
(2)	方	京都「千年の心得」	1月~3月実施	計 529 人
	1	京都鷹峯・太閤山荘	Fでの織部流武家点前特別茶会	41 人
	2	佐々木酒造の酒蔵見	1学と新酒を楽しむ	36 人
	3	早起きは三文の得!	圓徳院早朝坐禅と朝粥の朝食	55 人

- ④ 村田吉弘が語る、和食世界遺産登録への道筋⑤ 鈴鹿可奈子が語る「歴史・伝統と地域貢献」と nikiniki の季節の
- ⑤ 鈴鹿可奈子が語る「歴史・伝統と地域貢献」と nikiniki の季節の 生菓子手づくり体験
- ⑥ 旧曼舟邸でのお茶会体験と嵐山よしむらの蕎麦懐石を味わう 97人

61 人

⑦ 旧嵯峨御所大覚寺門跡で平安の香り体験~お香(薫物)に親しむ~ 119人

#### (3) 京都・文化体験ガイド「京のたしなみ帖」ホームページの運営

京都「千年の心得」の一環として、京都・文化体験ガイド「京のたしなみ帖」ホームページによる工芸制作や着付け体験、寺社体験などのプランを紹介した。

- ○PCサイト http://www.tashinami.com
- ○携帯サイト http://www.tashinami.com/mb/

# 4 「京の食文化」をテーマとした観光キャンペーン「食遊菜都」の実施

観光の大きな楽しみの一つである"食"をテーマにした京の食文化キャンペーンを引き続き実施、「京の夏の旅」「京の冬の旅」と連動して、京料理をはじめとした京の味覚と京都スタイルの「食」の楽しみ方を発信する特別プランを企画実施し、京都の"食"のPRと観光客の誘致推進に努めた。

(1)	1	食遊菜都 2014・夏 7月~9 月実施	<u>計 561 人</u>
	1	浄土宗総本山「知恩院 友禅苑」での特別茶会	166 人
	2	観覧席で見る祇園祭(前祭・後祭)と京料理	87 人
	3	宮川町の舞妓さんと楽しむ昼の京懐石	43 人
	4	先斗町「井雪」と祇園甲部「桝梅」でお茶屋遊び	58 人
	(5)	鴨川「納涼床」と「舞妓さんの舞と撮影会」	8人
	6	食遊懐石(本家たん熊/天岳)	199 人
(2)	1	食遊菜都 2015・冬 1 月~3 月実施	計835人
	1	妙心寺 非公開文化財特別公開と京の野菜御膳	338 人
	2	京の花街お茶屋遊び~花街文化と仕出料理~	52 人
	3	花街宮川町 大人の夜会	28 人
	4	上七軒の舞妓さんとのひとときと京町家でほっこりお昼	41 人
	(5)	食遊懐石(吉田山荘/渡月亭/京料理藤や)	376 人

#### 5 京の体験キャンペーン「京のたしなみ」事業の実施

平成 23 年度より取り組んでいる京都の伝統文化、伝統工芸の魅力を体感するキャンペーンとして京都市の協力のもと、JR西日本と共同で実施し、さらなる観光客の

誘致推進に努めた。

(1)	亰	「のたしなみ 7月~9月実施	計 121 人
	1	日本最古の絵具屋で色彩作家に学ぶ自分色の手紙づくり	24 人
	2	錦の織物工房見学とアクセサリー手作り体験	42 人
	3	西陣織生地を用いた小物作り体験	20 人
	4	西陣の染色糸でタッセルをつくる	35 人
(2)	京	「のたしなみ 1月~3月実施	計 200人
			·
	1	自分だけの釉薬づくり&絵付け体験	21 人
	<ol> <li>2</li> </ol>	自分だけの釉薬づくり&絵付け体験 世界に一つだけ、自分でつくる京象嵌	21 人 86 人
	_		/ •

# 6 特別企画事業の実施

春季・秋季の観光客誘致受入事業として、「金戒光明寺」「宝鏡寺」「霊鑑寺」「光雲 寺」「天使の里 霞中庵」の特別公開を実施した。

公開箇所 金戒光明寺/宝鏡寺/霊鑑寺/光雲寺/天使の里 霞中庵

公開期間 春季 霊鑑寺 4月1日~13日

秋季 金戒光明寺 11月1日~12月7日

宝鏡寺 11月1日~30日

需鑑寺 11月21日~12月7日 光雲寺 11月21日~12月7日

天使の里 霞中庵 11月6日、7日、13日、14日、18日、20

日、21日の7日間

金戒光明寺ライトアップ 11月15日~30日

春季・秋季 合計拝観者数 71,522 人

# 7 修学旅行受入対策の推進

# (1) 修学旅行相談業務

事務局において、学校関係者の下見等の利便に供するための総合案内窓口とし て、資料提供や相談業務を行った。

平成 26 年度利用件数 708 件

# (2) 修学旅行パスポート事業の推進

京都を挙げての修学旅行受入対策の一環として、平成10年より実施している

修学旅行パスポート事業について、会員の協力を得て、優待内容の充実を図ると ともに、誘致受入対策として、全国の学校関係者、旅行会社等にPRし、活用を 促進した。

① 優待協賛施設の拡充

社寺・観光施設・食事・買物施設などへ協力要請を行い、パスポート協賛 施設の拡充を図った。

平成 26 年度協賛施設数 347 施設

② インターネットによる情報発信

パスポート事業の内容をインターネットで発信するとともに、京都観光 Navi、きょうと修学旅行ナビや当協会ホームページなどのリンクにより、修 学旅行に役立つ観光情報を発信した。

# 8 外国人観光客誘致受入の強化

(1) 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローのインバウンド事業へ の参画

京都文化交流コンベンションビューローの協力団体として同ビューローが行 う京都市海外情報発信・収集拠点との連携や、旅行見本市出展など外国人観光客 の誘致に協力した。

(2) 海外有力プレス関係者等招請京都委員会への参画

京都府、京都市、京都府観光連盟とともに海外有力プレス関係者等招請京都委員会に参画し、世界各国の有力プレス関係者等を対象にした招請事業を実施した。

(3) 多言語観光情報誌の発行支援と配布

外国人観光客の利便を図り、誘致宣伝に努めるため、英文の月刊情報誌「キョートビジターズガイド」(1万6千部)、中国語版(簡体字・繁体字)・韓国語版の季刊情報誌「きょん」(各5千部)の発行を支援し、京都総合観光案内所を中心に配布した。

(4) 観光地図「KYOTO CITY MAP」の作成配布

会員より協賛広告を受け、外国人観光客向けに作成している京都観光に便利な観光地図を英文 50 万部再版したほか、中国語版(簡体字版・繁体字版)・ハングル版の地図を配布した。

(5) 音声観光ガイドの配信

iPhoneやiPod等を活用した音声観光ガイド英語 10 コースを引き続き配信し、音声・地図ともにどこからでも事前に入手できるようにした。

(6) 多言語ホームページ「KYOTO-MAGOnoTE」の運営

英語・フランス語・中国語 (簡体字と繁体字)・韓国語に日本語を加えた 6 言

語のホームページ「KYOTO-MAGOnoTE」を運営した。本年度も大きくアクセス数を伸ばした。

平成 26 年度 総ページビュー数 1,715,673 件 (25 年度 1,342,596 件)

# (7) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS) の活用

facebook ページにて、最新の京都情報のほか、ウォーキングツアーを楽しむ 外国人観光客の姿を発信した。

facebook ページ 『Like!Kyoto』 いいね!974 件

『Walking Tour in Kyoto』 いいね!1,107件

#### (8) 動画情報の発信

YouTube を活用し、当協会会員の施設情報、年中行事、季節の情報など「いまの KYOTO」を伝える「Lively Kyoto」事業として動画 30 本を作成、公開した。

# (9) 京都の旅の提案

①「京料理と舞妓の夕べ」の開催

料理旅館において、京料理と舞妓を外国人観光客が手軽に体験できるイベント「京料理と舞妓の夕べ」を開催した。

実施回数 99 回 1,632 人 (25 年度 84 回実施 1,408 人)

②外国人観光客向けウォーキングツアーの実施

外国人観光客に人気の「祇園ウォーキングツアー」を継続実施した。新たに、 外国人の関心の高い竹林や街並み保存地区を取り入れた「嵯峨野ウォーキングツ アー」を開始した。(事業実績は 22~23ページに掲載)

③「Kyoto Recommends」の発行

外国人観光客に教えたいエリアの紹介や、「食べる」「買う」「体験する」に特化した会員の施設紹介を掲載した英文の季刊情報誌「Kyoto Recommends」(3万部)を発行した。

#### (10) 民間観光案内所との連携

他事業所運営の案内所と連携し、京都全体のおもてなしの向上を図るため、京都駅の駅ビル案内所や交通局の案内所と情報交換を行った。

#### 9 MICE 戦略の取り組み

京都で開催される MICE において、歓迎とおもてなしの観点から、京都文化交流 コンベンションビューロー等と共同で、会場に観光案内ブースを設置する開催支援プログラムを設定し、京都開催の魅力を向上させた。

# 10 まちなか観光の企画推進 — 「歩くほどに奥深い京都」

「歩くほどに奥深い京都」をキャッチフレーズに、公共交通機関の活用を取り入れた歩く観光を提唱し、交通渋滞の緩和はもとより、観光客の足をまちなかや商店街へと向け、美しい町並みや買い物、体験や人々との交流を楽しむ「面の観光」へとする仕掛けの強化を図った。

# (1) 音声観光ガイド「京都フリーウォーク」配信

スマートフォンや iPod 等を活用し、魅力ある散策ルートを設定し、ガイドブックには載らない歴史や由緒を紹介する音声観光ガイドを、日本語 26 コース、英語 10 コースを配信した。

# (2) 京都エリアウォーク「京都ぐるり」の実施

公共交通の利用促進を図り、出発地点を地下鉄の駅とし、市民ガイドが説明を するウォーキングツアーを実施し、地域の隠れた魅力とオリジナリティを高める 京都エリアウォーク「京都ぐるり」を実施した。

#### コース

・鳥羽離宮ゆかりの史跡をぐるり(竹田駅)	9 回	48 人
・深草の歴史と史跡ぐるり(くいな橋駅)	7 回	54 人
・平安京の玄関と弘法大師ゆかりの地ぐるり (九条駅)	4 回	56 人
・新選組ゆかりの地と本願寺周辺をぐるり(京都駅)	4 回	60 人
・上賀茂神社と社家町ぐるり(北大路駅)	5 回	81 人
・太秦の史跡ぐるり(太秦天神川駅)	5 回	61 人
・平安宮と源氏物語ゆかりの地ぐるり(二条駅)	8回	66 人
・二条城周辺の史跡をぐるり(二条城前駅)	7 回	88 人
・高瀬川と坂本龍馬ゆかりの史跡ぐるり(三条京阪駅)	5 回	68 人
・岡崎と疏水関連遺産ぐるり(東山駅)	6 回	34 人
・散歩道 山科疏水沿いの史跡ぐるり (御陵駅)	7 回	42 人
・忠臣蔵 大石内蔵助ゆかりの史跡ぐるり (椥辻駅)	5 回	70 人
	計72回7	728 人

#### (3) 外国人観光客向けウォーキングイベントの実施

平成 19 年度より実施している外国人観光客向けの英語のガイドによる祇園ウォーキングツアーを引き続き実施した。年ごとに参加者が増加し過去最高を記録した。また新たなコースとして外国人に人気がある竹林や街並み保存地区を取り入れた嵯峨野ウォーキングツアーを開始した。

外国人観光客向けウォーキングツアー

○祇園ウォーキングツアー 週3回(月・水・金) 夕方実施

実施回数 153 回 参加人数 5.070 人(前年度 3.598 名)

○嵯峨野ウォーキングツアー 週1回 木曜実施 実施回数 39回 参加人数 144人

# 11 新たな観光素材の発掘と活用

京都ならではの観光素材を新たに発掘して全国に情報発信し、リピーターの確保を図るため、新たな観光素材を秘める地域観光の推進、京都が誇る歴史文化をたどる観光の振興や京の食文化ミュージアム・あじわい館を活用した京の食をテーマとしたイベントのほか、新緑が美しい初夏の「青もみじ」や紅葉が色付く前の初秋の「観月」にもスポットをあて、宣伝活動を展開した。

# (1) 地域観光の推進

夏は大原、冬は西陣地域にスポットをあて、散策して巡ることのできるエリア 内の名所・旧跡ほかのみどころを紹介し、地域観光の推進を図った。

# (2) 京都が誇る産業、歴史、文化を活用した観光推進

京都の有する歴史文化遺産への理解を深める特別な体験型コンテンツとして、 平成26年に世界遺産登録20周年を迎えた「古都京都の文化財」や平成25年 12月にユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」などをテーマに、学ぶ要素 を盛り込んだ親子で特別な体験ができる旅行メニューを企画し、首都圏からの1 泊2日のツアーを実施した。

実施日 26 年 6,7,10 月と 27 年 2,3 月の期間中 計 9 回 参加人数合計 551 人

#### (3) 京の食をテーマとした観光PR

京都市中央卸売市場、京都市農林振興室などと共催で京の食文化ミュージアム・あじわい館での料理教室や市場での買い物を楽しむ、京の食文化に触れるイベントを実施した。

# (4) 初夏「京の青もみじ」・初秋「京のお月見」

初夏には「京の青もみじ」の名所を紹介したリーフレットやホームページを作成し、初秋には寺院での「お月見」イベントを開催し、旅行会社への商品造成依頼、マスコミへの取材要請、宣伝物でのPRなどに努め、京都への誘客推進を図った。

#### 12 「京の七夕」事業の実施

オール京都で組織する「京の七夕」実行委員会に参画し、京都の新たな夏の風物詩として定着させるべくより一層の宣伝PRに努め、市内の社寺や観光施設などの協力

を得て実施した。

5 回目の節目を迎えた今回も、「堀川会場」と「鴨川会場」をメイン会場とし、堀川会場においては地元団体の企画・演出エリアを拡大し、新たな魅力の創出に取り組み、鴨川会場では昨年好評であった鴨川左岸プロジェクションマッピングのグレードアップを行うなど、既存の事業を活かしつつも新たな展開を図った。

開催期間 8月2日~11日 10日間

※台風の影響により8月9日(土)、10日(日)は開催見合わせ

来場者数 651,000 人(前年 742,000 人 前年比 87.7%)

#### 13 京都・花灯路事業の実施

京都の年中行事として定着した京都・花灯路事業は、12月の嵐山・花灯路で10回目、3月の東山・花灯路で13回目を迎え、当協会も京都市、京都府、京都商工会議所、京都仏教会、京都文化交流コンベンションビューローと共に構成団体の一翼を担い実施に当った。

嵐山花灯路では、10周年を記念して、新規に「クイズラリー」や「お絵かき行灯」、「記念撮影スポット」などの参加型事業と「トロッコ嵯峨駅」、「小倉池」のライトアップを実施し、魅力あるイベントになるよう努めた。東山花灯路では京都らしい新規事業の「香りのさんぽ路」や琳派をテーマにした「サンドアートパフォーマンス」などを実施し、盛況を博した。

○京都・嵐山花灯路-2014

開催期間 12月12日~21日 10日間

来場者数 929,000 人 (前年 1,102,000 人)

○京都・東山花灯路―2015

開催期間 3月6日~15日 10日間

来場者数 1,128,000 人 (前年 1,139,000 人)

# 14 三大祭観覧席設置事業および伝統行事等への執行補助

# (1) 三大祭観覧席設置事業と宣伝販売促進

葵祭・祇園祭山鉾巡行・時代祭の京都三大祭当日に有料観覧席を設置して、観光客の快適さ、利便性および京都の魅力を伝えるとともに、旅行会社等へのセールス活動やマスコミ機関等への報道要請を行った。また祇園祭山鉾巡行については、後祭巡行の復活に伴い、初めて観覧席を設置し、祇園祭の実施概要の変更等とともに情報を発信した。

#### (2) 四大行事等への執行補助

観覧席事業等の収入を財源として京都五山送り火を加えた京都四大行事に対して、安定した執行および保全を図るために補助金を交付した。

また主な伝統行事や観光行事に対しても補助金を交付した。

# (3) 四大行事協賛会の運営

四大行事協賛会のうち、葵祭行列協賛会、京都五山送り火協賛会については、 事務局の運営を担い、募金活動を行ったほか、祇園祭協賛会、時代祭協賛会については、事務局構成メンバーとして、補助団体、執行団体との連携のもとに、協 賛会の円滑な運営を図った。

# 15 京都さくらよさこいの実施

春の観光客誘致と京都市役所前を中心とした京都のまちの環境美化啓発の推進を 目的として、「第 10 回京都さくらよさこい」を実施した。

開催日 4月5日(土)・6日(日)

会 場 京都市役所前広場、下鴨神社など

# 16 元離宮二条城での各種イベントの受託

元離宮二条城において「二条城お城まつり」や「二条城ライトアップ」事業に協力し、ポスター、リーフレット、ホームページなどの媒体による宣伝活動を行い、二条城への誘客に努めた。また、イベントを盛り上げるため、京の老舗名産品展を開催した。

○二条城ライトアップ 2014 平成 26 年 3 月 23 日 ~4 月 13 日

○二条城ライトアップ 2015 平成 27 年 3 月 20 日~4 月 12 日

○二条城まつり 平成 26 年 10 月 18 日~11 月 24 日

○京の七夕:「京の老舗名産品展」 平成 26 年 8月 1日~10 日

#### 17 オール京都の観光振興会議の運営

平成 18 年にオール京都により設立された京都観光振興会議の事務局を引き続き務め、府市連携による広域観光の推進をはじめとした、オール京都の協力体制強化について活発な意見交換や協議を行った。

# 18 JR京都駅"歓迎いけばな"の運営

入洛観光客を花で迎える J R 京都駅構内の"歓迎いけばな"を、いけはな圏<京都>の協力により引き続き運営した。

# 19 公益財団法人京都伝統伎芸振興財団の運営支援

花街に伝わる伝統芸能の保存・継承によって京都の観光振興を図るため、公益財団 法人京都伝統伎芸振興財団の設立母体として、財団の運営について積極的な支援を 行った。

# Ⅲ 入洛観光客に対する案内事業 (公益目的事業会計)

#### 1 観光情報の提供と修学旅行相談業務の運営

当協会事務局において、観光情報や資料の提供等を行い、利用者に適切かつタイム リーな情報を発信するとともに、旅行会社やマスコミ等関係各機関に対しては適宜情 報発信した。あわせて、修学旅行相談の窓口として、学校関係者や修学旅行生を対象 とした相談業務や資料の提供を実施し、利用者の利便向上を図った。

また、平安神宮前無料休憩所内にある観光情報コーナーへの観光資料の提供を実施した。

#### 2 京都総合観光案内所「京なび」の受託

JR京都駅ビル2階の京都総合観光案内所「京なび」の運営業務を同運営協議会より受託し、年中無休で午前8時30分から午後7時まで、年間80万人の来所者に対し各種観光案内、宿泊紹介や交通案内に伴う乗車チケットの提供業務等を行った。

日本政府観光局JNTOの外国人観光案内所認定制度において西日本で初めて最高ランクのカテゴリー3に認定され、外国人観光客に対しては京都市内の案内業務にとどまらず、日本全域の観光案内・情報発信を、多言語・ワンストップで行った。26年度より、専任の所長が常駐し、地図や行事予定など基本的な情報を掲載した資料の配架、よくある問合せ内容の掲示など、効率的な案内方法を検討、実施した。

平成 26 年度相談者数 810,554 人 (25 年度 793,980 人)

#### Ⅳ 観光客の利便向上を図る販売事業 (収益事業等会計 「収益])

#### 1 二条城売店の運営

元離宮二条城の無料休憩所内の売店において、土産品の展示即売等を行い、入城者の利便に供した。また外国人利用者が増えたことから、クレジットカードでの対応を開始した。

# 2 有料出版物の販売

観光客の利便に供する有料出版物の窓口販売を推進した。

#### 3 無鄰菴における抹茶接待

京都市から管理運営を受託している無鄰菴において、受入サービスの一環として抹茶接待等を実施した。

# V 観光施設等運営事業 (収益事業等会計 [収益])

#### 無鄰菴の受託

山県有朋公ゆかりの史跡"無鄰菴"の管理運営を京都市から受託し、入菴者の受付 等を行った。

# Ⅵ 共催・後援・会員向け事業 | (収益事業等会計 [相互扶助その他])

# 1 会員勧募

当協会の組織の強化及び拡充を図り、京都を挙げての観光振興を図る推進体制を確立するため、観光関係事業者をはじめとした各界の幅広い分野に対し、年間を通じて積極的な勧募活動を行った。

平成26年定時総会以降の入会件数 36件(5月8日現在)

# 2 会報の発行

当協会の活動状況などを中心に編集した「京観協だより」を発行し、会員への情報 提供を行った。平成 26 年度は誌面をリニューアルし、見やすくするとともに、新入 会員の紹介や京都総合観光案内所の利用状況の報告など内容を刷新し、会員にとって より有用性の高い情報提供を行った。

#### 3 会員紹介・PR事業の実施

- (1) JR京都駅ビル内の京都総合観光案内所「京なび」をはじめ各インフォメーション窓口や、発行物、インターネットにおいて、観光協会会員の店舗・施設を優先的に紹介、PRを行った。
- (2) 各言語観光地図を会員の協賛により作成し、「京なび」京都総合観光案内所に おいて配布することにより、会員情報を発信した。
- (3) 会員に対して、情報提供を呼びかけるシートを送付し、会員情報の収集及び発信を行った。

#### 4 表彰

観光意識の高揚を図るため、観光事業の振興に貢献のあった個人の表彰を行った。

#### 5 共催・後援

年中行事を中心に各種観光催事など 135 件を共催・後援し観光客へのPRを実施した。

# Ⅷ 関係団体等共同事業 | (収益事業等会計 [相互扶助その他])

#### 1 広域観光事業

# (1) 全国京都会議の運営

京都と全国の"小京都"はじめ、京都ゆかりの市町で組織している全国京都会議の事務局を運営し、京都と小京都のイメージアップおよび観光客誘致を図る事業として、パンフレットやポスター等共同宣伝用印刷物の作成配布やホームページでの情報発信等、広域観光宣伝を実施した。

また、10月21日に岡山県津山市において30回目となる通常総会を開催し、 全国26市町70名の参加のもと、事業計画等が承認された。

加盟市町数 平成 26 年度総会時 49 市町

#### (2) 大都市観光協会連絡協議会

政令指定都市や大都市の観光関係団体で構成する大都市観光協会連絡協議会に参加し、通常総会、事務主管者会議において情報交換を行った。

#### (3) 近隣各市町との広域観光

京都府観光連盟との連携により、府域各市町との広域観光の推進を図るとともに、京都総合観光案内所においては、京都府全域の情報収集やポスター、パ

ンフレット等を収集し、利用者へのきめ細かな情報提供を行い京都府全域の観 光振興を図った。

また、奈良市観光協会と情報交換を行い、観光客誘致の相乗効果を狙った事業連携について協議した。

# (4) 全国足利氏ゆかりの会

全国足利氏ゆかりの会に引き続き参画して足利氏の顕彰を図る諸事業を推進した。

#### 2 京都観光施設協議会の運営

京都市内およびその近郊の観光対象施設等で構成する「京都観光施設協議会」の事務局を担当し、施設マップ等の共同宣伝用印刷物の配布や観光キャラバンの実施等、 共同して誘致宣伝・受入対策の推進を図った。

加盟施設数 23 施設

#### 3 関係団体等との共同事業

- (1) 京都は、優れた会議施設と豊富な観光資源を有するコンベンション都市として 学術会議を中心にした多くの各種会議等の開催実績があり、京都文化交流コンベ ンションビューローと各種情報を交換するなど連携し、会議誘致の推進を図った。
- (2) 京都ブランド名産品公正取引協議会に参画し、観光土産品の品質向上に努めた。
- (3) 京都市まちの美化推進事業団に参画し、観光地美化キャンペーンや美化啓発活動に取り組んだ。
- (4) 公共交通機関でおこしやす・京都市協議会に参画し、公共交通機関を利用した 観光客誘致の推進を図った。
- (5) 嵐山および東山交通対策研究会に参画し、観光地における交通問題について検討を進めた。
- (6) 京都SKY観光ガイド協会など市民ボランティアガイドや学生観光ガイド団体 との連携のもと、京都総合観光案内所や当協会事務局での観光案内業務や「京の 冬の旅」事業をはじめとする各種事業を実施し、観光客の受入案内業務を推進し た。
- (7) 京都一周トレイル会に参画し、京都市が設定する京都一周トレイル事業の推進 に取り組んだ。
- (8) 京都市メディア支援センターに、アドバイザーとして参画し、各種メディア等の京都での取材及び映像制作などの支援を通じて、京都の魅力の発信に取り組んだ。

- (9) 京都創生推進フォーラムに参画し、「京都創生」の実現に向けて、関係機関・ 団体と相互に協力し、地元京都における京都創生の機運の高揚に取り組んだ。 また、東京都心を舞台に京都創生PR事業「京あるき in 東京」を開催し、「国 家戦略としての京都創生」の発信および認知向上を図るとともに、京都の観光、 歴史、文化の魅力発信により、京都ファンの一層の拡大に取り組んだ。
- (10) 京都岡崎魅力づくり推進協議会に参画し、岡崎地域を世界に冠たる文化・交流 ゾーンとするとともにさらなる賑わいを創出するため取り組んだ。
- (11) 京都市地域活性化総合特別区域協議会に参画し、平成23年12月22日に指定を受けた「地域活性化総合特区」に基づき、国際観光都市、歴史都市、文化芸術都市としての京都の魅力をさらに磨きあげ、これまでにない質の高い観光スタイルを提案し観光立国の実現を先導するとともに、国際的な文化芸術創造の場を提供することにより、多彩な文化交流による国際相互理解の推進を図った。
- (12) 京都マラソン実行委員会に参画し、国際観光都市京都の魅力を国内外に発信するとともに、京都ブランドの向上に取り組んだ。
- (13) 京都府中央リニアエクスプレス推進協議会へ参画し、中央リニアエクスプレス の推進並びに京都への誘導と建設促進を図るため取り組んだ。
- (14) 平成27年3月上旬から5月上旬にかけて京都市内において開催された京都国際現代芸術祭組織委員会に参画し、国際展の開催により、文化発信力の強化による都市格の向上、新たな国際展創設による京都の活性化、国内外からの新たな集客等を推進するため取り組んだ。
- (15) "京都をつなぐ無形文化遺産"審査会に参画し、京都に伝わる様々な無形文化遺産の価値を再発見、再認識し、内外に魅力を発信するとともに、大切に引き継いでいこうという市民的気運を盛り上げた。
- (16) 琵琶湖疏水船下り実行委員会に参画し、明治期の先人たちが築き上げた貴重な 産業遺産である琵琶湖疏水を活用し、新たな観光資源を創出することにより、琵 琶湖疏水沿線地域の更なる活性化を図った。
- (17) 第65回華道京展に参画し、華道発祥の地である京都華道会の発展と、市民文 化の向上に取り組んだ。
- (18) 琳派 400 年記念祭委員会に参画し、琳派発祥から平成 27 年に 400 年を迎える に当たり、京都にとってかけがいのない文化遺産であり伝統工芸の礎でもある琳派について、理解と普及啓発活動を推進した。
- (19) その他の参画団体または参画団体との共同事業
  - ·公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団
  - ・公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター
  - ·公益財団法人京都市文化観光資源保護財団
  - ・公益社団法人京のふるさと産品協会

- 一般財団法人国民公園協会
- ・一般財団法人地域伝統芸能活用センター
- ·公益社団法人日本観光振興協会
- ・公益財団法人日本電信電話ユーザ協会
- ・IT コンソーシアム京都
- ・明日の京都文化遺産プラットフォーム
- ・岡崎桜回廊十石船めぐり実行委員会
- ・安心救急ネット京都推進会議
- 観光立国推進協議会
- ・祇園祭後祭巡行の復興に向けた協議会
- · 京都学生祭典企画検討委員会
- 京都・観光文化検定試験検定委員会
- · 京都市観光振興審議会
- · 京都市自動車環境対策協議会
- ・京都市生涯学習市民フォーラム
- 京都市内博物館施設連絡協議会
- ・京都ツーデーウォーク実行委員会
- ・京のアジェンダ 21 フォーラム
- ・古典の日推進委員会
- ・下京区西部エリアの活性化を目指す検討会議
- 「スローライフ京都」推進会議
- ·第7期京都市無電柱化推進会議
- ・第29回日本医学会総会2015関西「アドバイザリーボード京都」
- ・「伝統産業の日」実行委員会
- 東海自然歩道連絡協会
- ・DO YOU KYOTO?クレジット創出・活用促進協議会
- ・「未来・京都観光振興計画 2010+5」マネジメント会議
- ・ミラノ国際博覧会京都ウィーク実行委員会
- ・京都文化フェア推進委員会
- ・「歩くまち・京都」推進会議
- ・関西ワールドマスターズゲーム 2021 組織委員会
- 嵐電サミット
- ・八条口タクシープール喫煙問題に関する関係者会議

# Ⅲ 事務報告 (平成 26 年度定時総会~27 年度定時総会)

# 1 総会

定時総会 (グランドプリンスホテル京都) 平成26年6月10日

# 2 理事会

(グランドプリンスホテル京都)平成 26 年 6 月 10 日(リーガロイヤルホテル京都)平成 27 年 3 月 19 日(京都東急ホテル)平成 27 年 5 月 19 日

# 3 委員会

(1) 総務委員会 (京都タワーホテル)平成 27 年 3 月 13 日<br/>(京都ホテルオークラ)(2) 企画委員会 (京都国際ホテル)平成 26 年 11 月 4 日<br/>(京都センチュリーホテル)(3) JR委員会 (リーガロイヤルホテル京都)平成 26 年 9 月 3 日

# 4 決算監査会

平成 27 年 5 月 14 日